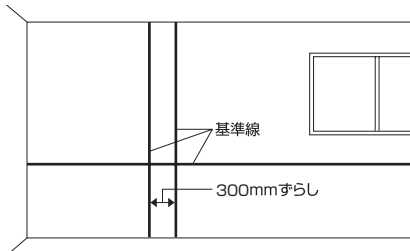


## 施工前のご注意

- 施工面の不陸、ボード類の継ぎ目など、予め下地処理を行ってください。
- 壁紙の上から施工できますが、はがれやめくれがある場合、補修してから施工してください。
- 施工面をきれいに清掃してください。油分などが付着している場合、完全に除去してください。
- 施工時に、接着剤が付く恐れがありますので、周囲の養生をしっかりと行ってください。
- 5℃以下での施工は出来ません。事前に保温処置を行ってください。
- コルクは天然素材です。できるだけ環境に馴染ませるため、予め梱包を開封してください。

## 1. 墨だし・割り付け

壁の隅で極端に壁用コルクシートが小さくならないようバランスをとり、墨つぼ等で基準線を描きます。



## 2. 接着剤の塗布

コルクロール・壁専用接着剤(RO)を適量平らな容器に取り出し、くし目ゴテで施工面に塗布します。接着剤の貼り合せ可能時間内に貼り終える量を塗布してください。

## 3. 塗布後のオープンタイム

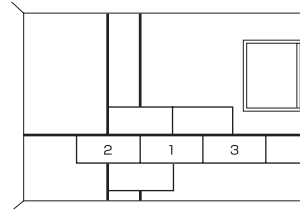
塗布後、オープンタイムを取ります。塗布後、接着剤の色が灰色に変わってきたときが貼りごろです。下地の種類によりオープンタイム・貼り合せ可能時間が変わります。下記表を参考に施工を進めてください。

	吸水下地 (モルタル・コンクリート等)	非吸水下地 (PVCクロス等)
塗布量 (g/m <sup>2</sup> )	250~300	200~250
オープンタイム (分)	*5~10	*10~30
貼り合せ可能時間 (分)	*10~50	*20~60

\* 下地の種類や状態、気温や湿度、通風により変わりますので試触等によりご確認ください。

## 4. 材料の貼り付け

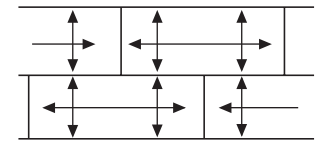
基準線の交差する所から1枚ずつ貼り付けます。その際、目地に狂いすぎ間が生じないように均一に力を加えて貼りこんでください。誤って貼ってしまった場合でも、1~2度貼り直しができます。



接着剤が表面に着いてしまった場合、すぐにきれいな布を清水で濡らし硬く絞って拭き取ってください。接着剤の硬化後では取れなくなります。

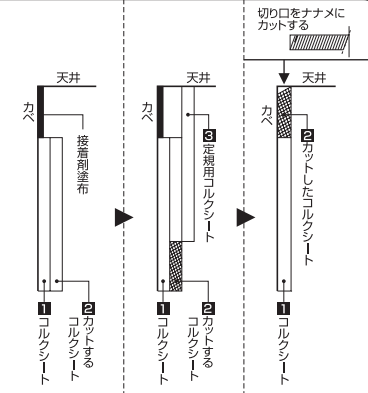
## 5. 圧着 (重要)

2~3枚貼り終えるごとに右図のように中央から目地の方向に、ハンドローラで丁寧に圧着します。また目地部分もしっかりと押さえます。



## 6. 天井・床・壁紙の貼り方

すでに貼り込んだコルクシート①の上にカットするコルクシート②を重ねます。定規用のコルクシート③をその一辺が天井に接する状態で②に重ねます。②の露出部分(斜線部)をカッターナイフで図のようにカットし、それを①と壁の間に貼り込みます。



## 7. 仕上げ

施工後30分ぐらいで、再度ハンドローラで全体を圧着してください。(特に四隅を重点的にしっかり押さえてください。)

## 施工後の乾燥

急激な環境の変化は目地隙さの原因になります。施工直後は、エアコンなどでの乾燥はしないでください。

注) 石膏ボードに施工される場合は、プライマー処理をするかコルク側に接着剤を塗布してください。